

# 社会福祉法人アイアイハウス 2022年度事業計画

## はじめに

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の第4波拡大に始まり、前年にもまして感染予防への対応に追われた1年でした。2022年1月から始まった法人内事業所での感染者拡大は、障害福祉現場での感染予防の難しさと拡大予防の難しさを実感する出来事となりました。職員の献身的な仲間支援により収束を迎えましたが、大きな反省と教訓を残すこととなりました。引き続き衛生管理を続けるとともに、広く行政にも働きかけていくことが求められます。また、2021年度は3年に1回の報酬改定の対応にも追われた1年となりました。障害福祉分野では、全体の予算は増額となりましたが、重度化や高齢化に対応するとのうたい文句の中、基本報酬が下がる中で限られたパイの中でメリハリをつける予算となっています。より複雑になった加算制度の中で、アイアイハウスの各事業所も膨大な労力をかけて予算確保が必要とされました。全体としては膨れ上がる「年金」「医療」「介護」などの社会保障全般の費用を抑えることが目的とされ、アイアイハウスの法人理念にも掲げられた、障害のある仲間ひとりひとりが人生の主人公として輝ける社会とは大きくかけ離れているとしか思えません。京都市の財政破綻によるしわ寄せは、重度障害者補助金の減額としてアイアイハウスの運営にも大きな影響がありました。

しかしこの間、障害福祉分野では2014年の障害者権利条約の批准に始まり、差別解消法の施行など、障害のある人たちの権利の保障をめざす動きも確実に進みつつあります。とりわけ介護保険優先原則訴訟の完全勝利判決もその大きな現れの一つと言えます。あわせて、優生保護法の違憲訴訟を問う裁判では、法律そのものの憲法違反を認め、除斥期間を認めずに国に損害賠償を課す画期的な判決も出されています。障害のある日との人権の保障を守るためにも引き続き広く世論に訴えた取り組みが求められます。

今後とも、アイアイハウスの30年をこえる歴史に学びながら、社会福祉法人アイアイハウスの法人理念と基本方針(めざすこと)に立ち返り、仲間たちや家族の置かれた現実から出発し、願いと意思を実現する法人運営と実践の充実発展に全力で取り組まなくてはなりません。

2022年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響は日本においても様々な分野で国民生活に支障を来していくこととなります。ワクチンや飲み薬の開発も進んでいますが、障害のある人たちや支える職員に対して、PCR検査実施やワクチン接種などがより丁寧、具体的に保障されるための働きかけも求められます。2022年度も引き続き以下の重点課題を大切にしながらも、仲間たちの安全を第一に考えながらのより具体的で細やかな日々の取り組みが求められます。

## 2022年度重点課題

### ① 仲間たちの日中活動のさらなる充実をめざします

#### <現況>

紫竹アイアイハウスが開設して丸5年が経ちました。年度途中での舟岡アイアイハウスの開設もあり、アイアイハウス全体で仲間の登録は年度当初41名となっています。またこの間は、仲間たちの生活リズムの確立や見通しも視野に入れ、通所日数の増をめざして、祝日開所や土曜開所にも引き続き取り組んで来ています。アイアイハウスの仲間たちの障害特性、年齢層も幅広くなる中で、とりわけ家族の家庭での介護度が低下していく中で今後ますます仲間たちひとり一人の置かれた実態や願いに基づいて各事業の果たす役割をより明確にする事が求められます。

### <重点課題>

仲間たちの実態や願いに合わせて、生活介護事業所では引き続きアイアイハウスでの祝日の開所と紫竹アイアイハウスでの土曜開所を継続して取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながらではありますが、仲間たちの働くことをはじめとした日中活動の充実はもとより、働くこと以外の諸活動（機能訓練やストレッチなど）や行事（創作活動やリクレーション、自治会活動など）もいっそう充実させていきます。しかしながら新型コロナウイルスの影響で今年度も外出取り組みや旅行などにはまだまだ大きな制約があると考えられます。あわせて、仲間の高齢化や障害の重度化に伴い、往診等も含めた医療的ケアや健康の維持、PTの指導や身体づくりなどにも積極的に取り組んでいきます。

### ② アイアイホーム等のくらしの場の充実と家庭での暮らしの支援を進めます

#### <現況>

アイアイホームでは、祝日開所に伴うホームの祝日宿泊利用と週末である金曜日までの宿泊も実施して来ていました。しかしながら2021年度は職員体制の不十分さや重度障害者を対象としていないグループホームの制度設計や報酬構造の課題もあり、暮らしを支えるより充実した取り組みを進めることが困難でした。そのような中でも、家族の高齢化等による家庭での介護力の低下に伴い、土曜や日曜、長期休暇中のホーム利用についても一部実施を始めざるを得ない状況もありました。とりわけアイアイホーム利用の仲間の新型コロナウイルス感染症の発症に伴う対応では、職員の献身的な支援で難局を乗り越えることは出来ましたが、様々な課題と教訓を得ることとなりました。仲間の加齢に伴い必要になる医療的ケアに係る支援体制の確保や、土日や長期休暇中のホーム利用も視野に入れた支援の体制作りなどはあるものの、経営的な課題もあり取り組めていません。

#### <重点課題>

より一層アイアイホームでの暮らしを質と量の双方ともに充実させることが望まれています。あわせて、家族の高齢化や介護力の低下も進むなか、ホーム内にあるショートステイアイアイや紫竹アイアイハウスのショートステイ紫竹アイアイもより活用の頻度を増やし、充実して利用できるように検討を進めます。また、アイアイハウスに通う仲間たちの将来の暮らしを見据えて、職員と家族がともに考えていく場を作ります。

### ③ 仲間の生活や余暇を支える手だてを充実させます

#### <現況>

指定特定相談事業所を中心として、仲間たちの日中や夜間の支援だけでなく、ライフサイクルに沿った仲間一人一人の暮らし全体を考えると、余暇の充実等をめざしてそれぞれの課題の解決や将来に向けて法人として取り組みを進めてきました。

#### <重点課題>

そのためにも、ヘルパーステーションアイアイの質・量ともに拡充をはかり、仲間たちのニーズに応じた居宅介護の利用を大きく促進します。とりわけ希望の多い移動支援の事業の開始をしたことで外部利用者も含め稼働を増やします。障害者地域生活支援センターや保健センター等の他機関、他の事業所とも連携し、仲間たちの余暇を豊かに支える取り組みとともに生活の課題の改善に向けた取り組みにも力を注ぎます。

### ④ 「法人理念」と「法人の基本方針(めざすこと)」に基づく実践と運営を進めます

社会福祉法人アイアイハウスの「法人理念」と「基本方針(めざすこと)」を通じて、日々の取り組みの中で職員をはじめとしたアイアイハウス関係者の団結と意思統一をより進めます。そのためにも「法人理念」と「基本方針(めざすこと)」を実現できる実践力の向上と経営の確立

と安定を図るために、就業規則をはじめとした諸規定の更なる整備と充実に着手します。

⑤ 法人と職員集団の役割を明確化するとともに、法人の組織機構をしっかりと確立します  
2022年度重点課題が実現できるよう、地域も異なり事業種別も異なる法人内の各事業が有機的に連携し機能するよう、強固な組織機構体制を確立します。そのためにも2022年度も引き続き事業所間の人事異動・人事交流や新たな管理職の登用を行います。その中で、個々の職員が自分の所属する事業所だけでなく、幅広い視野を持ち法人全体を考えられるよう研修や交流に努めます。また職員の職責や役割分担、業務分掌を明確にするとともに、職員会議の充実と研修の充実を図ります。キャリアパス制度を充実し、現場の責任者である主任を個々の事業所にも配置する中で、個々の責任所在を明確にし、職員のやりがいとともに働きがいの充実を目指します。また、コロナの中ですが開催方法の工夫を検討しながら、法人とアイアイハウス家族の会やアイアイハウスを支える会との連携をより一層強化します。

⑥ 仲間の置かれた実態や要求に基づく制度改善に向けた運動に積極的に取り組むとともに、地域での理解と支援を広げます

国において、財政抑制に発して権利としての社会保障制度が後退していく中、仲間たちの願いに応えるべく、制度改善の運動に積極的に取り組みます。また、そのためにも各障害者団体や障害者施設、他種の社会福祉事業や社会福祉協議会等とも連携を深め、人的な交流も含めて積極的に連帯します。同時に、地域の住民や地域の各種民間団体とも連携を深め、様々な機会を通じてアイアイハウスに対する理解と共感を広げる取り組みを進めます。

⑦ 仲間たちの願いに基づく中長期計画を点検し実践します

社会福祉法人アイアイハウスとして、新たに作成した中期5カ年計画(Vision 2020 to 2024)に基づいて事業を進めるとともに、年度ごとの振り返りと内容の点検・再検討を行います。そのためにも法人役員だけでなく、仲間家族や職員、幅広い関係者が参画しての検証委員会を設け計画の推進に努めます。

⑧ 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みを充実します

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、仲間たちが安心してアイアイハウスに通えるように様々な手立てを行います。新型コロナウイルスに感染しない、感染しても事業所内で広げないことを目指して、管理職会議を中心として、仲間や職員に対する衛生管理を引き続き徹底するとともに健康管理に努めます。法人として事業継続計画であるBCPの作成に着手します。また、仲間や職員の発熱時に対応できるマニュアルの作成と実施の徹底をはかるとともに、緊急時に対応できるようにPCR検査キットの導入と活用をすすめます。その他、国や京都市からの情報をしっかりと受け止めるとともに、それらの情報を仲間家族や職員にも共有していきます。

### 3.各事業について

2022年度 アイアイハウス・舟岡アイアイハウス 事業計画(案)

(文責:丸山 徹)

#### ■今年度方針

2022年1月に上京アイアイハウスの分室として「舟岡アイアイハウス」を開設し、仲間の再編、新規の受け入れを実施しました。2022年度はこの新体制の下、以下の方針で仲間の

支援をしていきます。

(1) 仲間一人ひとりが安心して過ごせるような環境作りに努めます。

- ・豊かな実践のため適切な職員配置を実施します。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策に引き続き取り組みます。
- ・施設内の危険な場所をなくし、危険な物を除去するとともに、職員の援助技術を高めることにより仲間のケガの防止により一層努めます。

(2) 仲間一人ひとりが楽しく取り組める活動を保障します。

- ・仲間一人ひとりに合わせた作業や活動内容の見直しに引き続き取り組みます。特にコロナ禍での運動不足を解消できる取り組みを検討し実施します。
- ・仲間一人ひとりのペースを大切にた支援を行います。

(3) 仲間、家族、職員誰もが安心できる「上京アイアイハウス」をめざします。

- ・送迎時や連絡ノートなどのご家族とのコミュニケーションを大切にし、仲間とご家族の思いや願いを大切にしていきます。また、定期的な面談や必要に応じてケースカンファレンス等を開催します。また、引き続き仲間のみなさんの活動をよりわかりやすくご家族の方々へお伝えできるよう月に1回『かみぎょうしんぶん』を発行していきます。
- ・職員と管理職が対話できる機会を増やして安心して働ける職場を目指します。

■事業内容

上京・舟岡アイアイハウスでは、仲間一人ひとりに合わせた取り組みを充実させていきます。日々の活動を通じて仲間一人ひとりがいきいきと取り組み『楽しい』と実感できる事業をめざします。

①取り組みの充実

上京・舟岡全体

<ことばと音楽>

週に1回、仲間一人ひとりの好きなうた(音楽)を中心に、季節に合わせた音楽と紙芝居や絵本などの『ことば』も大切に取り組みます。

<仲間の会>

仲間の「●●したい！」意見を大切に、充実した企画にしていくため、年間計画を作成していきます。季節の行事やゲーム大会など合同で取り組む機会を大切にしていきます。

<創作活動>

季節の壁画を中心に制作していきます。今後は、様々なものを制作できるような取り組みにしてけるよう仲間一人ひとりの好きな活動を活かしながら取り組みます。

<外出企画>

できるだけ外出する機会を充実していきます。お花見や紅葉狩りなど外で楽しめる機会を確保していきます。

## 上京全体

〈お米の仕事〉

「精米」「計量」「ラベル貼り」「配達」を1階グループと2階グループで仲間一人ひとりに合った工程を分担して取り組みます。

## 上京1階グループ

日々の取り組みは個別での対応が中心となっていますが、仲間の会や行事等は仲間全員で取り組める工夫を検討しています。  
リサイクル活動は散歩も兼ねて取り組みます。生活活動では室内清掃や買い物に取り組みます。

## 上京2階グループ

新しい取り組みとして『運動の時間』を設けます。木曜日の午前の取り組みで、バونسボールをみんなで回したり音楽に合わせて体を動かしたり手遊びなどをします。

### ②月に1回、避難訓練を実施します。

様々な想定での訓練を行います。月に1回実施し、全職員が緊急時にスムーズな対応ができるようにしていきます。避難だけではなく「救急対応」もあわせてしていきます。

## 舟岡

「下請け」の仕事では、袋入れ、シール貼りなどの様々な仕事から仲間一人ひとりに合った仕事を担当していただきます。

また帰る前には「掃除の時間」を設けて床のモップがけなどの室内清掃をします。

### ③情報の共有

仲間みなさんの様子を日々職員間で情報共有していきます。その為に、終礼での報告を徹底し、特に『事故報告』『ヒヤリハット』をはじめ、ステキな出来事を共有してけるよう『ニヤリホット』の報告を大切にしていきます。『事故・ヒヤリ』についてはその都度対策を話し合い、改善が必要なことをすぐに対応していけるようにします。また、仲間一人ひとりに対する支援について職員で深められ、話し合える場を大切にしていきます。

## 2022年度 紫竹アイアイハウス 事業計画(案)

(文責:栗津 浩一)

### ① 土曜開所を実施します

2022年度も月1回の土曜開所日と年2回の祝日開所日を継続して取り組みます。

### ② 日々の取り組み内容を充実させます

仲間みなさんが実力を発揮できる取り組み、達成感が得られる活動に取り組みます。自主製品(フェルト製品・紙製品)の製作には、年間予定表を組み、目標を持って取り組みます。創作活動やレクリエーション活動などは、季節感を大切に、同じく年間予定表を組み、取り組んで楽しい企画を立てます。他にも、園芸作業、リサイクル作業、ストレッチなどで、仲間個々の目的や目標に応じて取り組める時間を作ります。新型コロナウイルスの影響はありますが、様々な機会を通して地域とのつながりを大切に活動できる工夫を考えます。

### ③ 医療面でのケアを充実させます

常勤職員の看護師の配置はもちろんのこと、昨年見直した近隣の提携医療機関とより密接に連携して医療面でのケアを充実させます。今年度もインフルエンザ予防接種を施設内で行います。仲間の急変時の対応はもちろんのこと、計画的な通院についても事業所として積極的に取り組みます。

### ④ 新しい仲間を受け入れます

年度内にも引き続き新たな仲間の受け入れを検討します。あわせて、施設の広さやバリアフリー度からも引き続き支援学校の卒業生や事業所間の異動なども含め新しい仲間の受け入れを検討していきます。また、仲間の障害特性(常時の車椅子利用や発達障害など)にも着目して、基礎集団の再編や新たな作業・取り組みグループも検討します。

## 【ショートステイ紫竹アイアイ】

### ① 契約者の定期利用の拡充をめざします

年度初めは職員体制の課題もあり、2022年度はアイアイホームの「ショートステイアイアイ」とともに「ショートステイ紫竹アイアイ」でも、希望するすべての仲間のショートステイ利用の実施ができるように進めます。仲間の障害特性や職員体制、施設設備等も勘案して、場所も選べるようにしていきます。職員体制の確保と充実が前提となりますが、法人としての検討チームを立ち上げて体制確保に努めます。

## 2022年度 アイアイホーム 事業計画(案)

(文責:福原 友佳)

## ■今年度方針

アイアイホームは以下の方針をもとに仲間一人ひとりのくらしを支援します。

### (1) 仲間一人ひとりがその人らしく過ごせる充実したくらしを支援します。

- ・仲間一人ひとりの気持ちに寄り添い、仲間の方のアイアイホームでのペースを大切に支援します。
- ・仲間一人ひとりに合ったアイアイホームでの過ごし方を大切にします。仲間それぞれの好きなアイテムなどを準備し、自室や共有スペース(リビング)で過ごしていただけるようにします。また、仲間同士で“あそび”を楽しみます。
- ・季節の行事などを一緒に楽しめる環境づくりや楽しい催しを大切にします。

### (2) 仲間一人ひとりの安心安全なくらしを支援します。

- ・ケガや事故等が起きないように、常に日々の支援を職員間で確認します。支援内容を変更する際は確実に引継ぎを行い、書面等で周知します。
- ・「新型コロナウイルス感染対策」では環境整備や手洗い・うがい・消毒、直接に介助を行う際の手袋着用等を行い支援します。

### (3) ご家族、職員、関係者の情報共有を大切に行います。

- ・連絡ファイル、必要な時には電話連絡、メール・ライン等で日々の仲間の方の様子などの情報を共有します。

- ・ご家族の思いや願いを大切に、定期的な面談や必要に応じて支援者会議等を開催します。

#### (4) 安定した事業所運営が行えるよう、法人の課題として検討し取り組みます。

- ・重度の障害のある人のグループホーム事業として、安定した運営ができるよう、行政等への働きかけを強めるとともに、アイアイホームのより良いあり方をご家族と一緒に法人全体の課題として位置づけ取り組みます。

### ■事業内容と課題対応

#### ① 生活面

仲間一人ひとりのくらしを大切に支援します。

一人ひとりの気持ちに寄り添いその人らしく過ごせるアイアイホームをめざします。

#### 【食事】

- ・仲間一人ひとりにとって満足いただけ、健康面へ配慮した食事を提供いたします。
- ・夕食はヨシケイの「すまいるごはん」メニューを利用し、職員手作りの食事を提供いたします。
- ・朝食は可能な限り仲間の好みに合わせた食事をアイアイホームで準備いたします。

#### 【入浴】

- ・毎日お一人ずつの入浴支援を行います。ヘルパー支援をご利用の方は、ヘルパーの方への引き継ぎ・報告を適切に行います。

#### 【衣類(私物)管理】

- ・仲間一人ひとりの私物は、管理方法を職員間で確認し大切に扱います。
- ・衣類等の使用間違い防止として「名前」を記入し管理します。また、気温や季節に合わせた衣服調節を行います。

#### ② 体調管理

- ・施設内の清掃、消毒、可能な方の手洗い、帰所起床時に仲間の検温を行い記録します。
- ・「食事量」「水分摂取」「排泄状況」等の記録を行い把握します。
- ・排便対応で必要な方には訪問看護をご利用いただき、看護師の方の助言や体調面の相談などの対応を行います。
- ・体調等で必要な方はご家庭と相談の上、個別の対応を行います。(食事・おやつの工夫など)

#### ③ 職員体制

- ・アルバイト職員の募集とあわせて、日中事業所と連携した体制づくりを行い法人全体で対応していきます。
- ・「ヘルパーステーションアイアイ」と連携し仲間の方へのヘルパー支援を行い安定した支援を行います。

#### ④ その他

- ・年2回の避難訓練を実施します。特に職員体制が少ない夜間時を想定した訓練を行います。

## 2022年度 相談支援センター アイアイ 事業計画(案)

(文責:藤田 真人)

### <現況>

昨年度も常勤職員1名体制で指定特定相談支援事業に取り組んできました。30名を超える仲間の利用計画作成や日常生活相談を行ってきました。

仲間たちはコロナ禍でヘルパー利用による余暇の楽しみが制限される中、在宅で過ごす時間が増えてきています。また、感染の不安から日中事業所の通い控えもあり、生活リズムが激変した仲間も出てきています。あわせて仲間や仲間の生活を支えているご家族の加齢や急病により、支給内容の大幅な変更が必要になるケースが増えてきています。新たに地域で一人暮らしを希望する仲間・ご家族のニーズに応えられる体制づくりが急務です。現在の制度を知悉し、「必要な時に必要な支援を受けられる環境を作る」ことが相談支援に求められる役割であると感じています。

### <方針>

#### ① 必要な時に必要な支援を受けられる環境づくりを目指します

普段から、仲間や介護の中心であるご家族の状態を、保健センターのケースワーカーや支援事業所とも共有し、急な変化にも対応できる環境を作っていきます。支援計画作成の際には仲間とご家族に、積極的にたくさんの事業所を利用して一緒に「支援の輪」を作っていくことを引き続き提案していきます。

#### ② 余暇の充実や将来に向けての経験をつんでもらえるよう、他法人・事業所との関係作りに努めます

移動支援やショートステイなどのサービスを利用したいけど、空きがなく利用できないという現状を何度となく経験しました。日々の業務に併せて、新規事業所情報や、各事業所の特色、サービス利用状況(空き状況)の把握など、各事業所との連絡、情報共有できる関係作りを継続して行っていきます。

#### ③ 研修運営・受講など職員のスキルアップに努めます。

様々な研修を運営・参加し、制度の理解を深めて職員のスキルアップにつとめます。

## 2022年度 ヘルパーステーションアイアイ 事業計画(案)

(居宅介護事業・重度訪問介護事業・移動支援事業) (文責:藤田 真人)

アイアイハウスでは、グループホームを利用している仲間はもちろんのこと、生活介護のみを利用している仲間も、夜間や余暇での生活支援の課題が増大してきています。アイアイホー

ムでのヘルパー利用を充実させるとともに、アイアイハウスの仲間や地域で支援を必要としている仲間の実態や願いにさらに応えていくためにも常勤・登録ヘルパーともに増員し、日中事業所やグループホーム職員のヘルパー資格取得を促進して、余暇や暮らしの支援を行う職員を増やし取り組みを充実させ居宅介護事業の経営の安定化にも努めます。仲間の希望の多い行動援護事業を開始し、余暇の充実を目指します。初年度は移動支援・行動援護・重度訪問介護で月 200 時間の派遣、給付費 2500 万円を目標とします。